

## 目次

- 2 **巻頭エッセイ**  
朋有り遠方より来たる
- 4 **過去問に学ぶ**  
動詞は目的語と一緒に
- 6 **語彙をふやそう**  
食べ物と飲み物
- 8 **看图学成语**  
絵で見る成語(15)
- 10 **紛らわしい文法表現**  
“很好”、“真好”、“挺好”
- 12 **翻訳添削**  
どこがおかしい？なぜおかしい？  
——「日文中訳添削講座」から(21)
- 14 **新しいことばと古いことば**  
草の根文化を代表する新語“山寨”
- 15 **読者の広場**  
書き取り練習“听写”の勧め  
中国語学習は楽しい

発行 一般財団法人日本中国語検定協会

本誌掲載の記事、写真、イラスト等を無断で複製・  
複写・転載することを禁じます。

## 朋有り遠方より来たる

日本中国語検定協会評議員・広島大学 佐藤利行

中国で仕事をしていると、様々な場面でよく引用されるのが『論語』学而篇の孔子の言葉「有朋自遠方来，不亦乐乎」である。すこし前のことになるが、北京オリンピックの開幕式においても、世界各国の選手を迎える言葉として引用された。

この言葉が引用されるたびに気に掛かるのが通訳の問題である。大学で仕事をしているとほとんどの場合、国際交流所の担当者か日本語学部の教員が通訳を担当しているようであるが、まれに「朋有り遠方より来たる，また楽しからずや」と訓読によってこの言葉が日本語に訳されると、なんとなく親近感を覚えるのは筆者だけではないと思う。「友人が遠くからはるばる訪ねて来て下さいました。なんとうれしいことでしょうか」と通訳されても、もちろんそれは間違っていない。しかし、中国の古典、いわゆる漢文を訓読によって日本語に置き換えることができる通訳者に対して、この人は日本のことをよく理解しているな、日本の文化がよく分かっているな、などと感じてしまうのも事実である。

ところで、2012年は日中国交正常化40周年という日中交流にとって節目の年であった。残念なことに多くの記念事業が延期や中止となったが、広島大学主催の日本語作文スピーチコンテストは予定通り11月16日に北京で開催された。この時に記念講演をお願いしたのが50年以上にわたり日中の交流事業の最前線で通訳として活躍されておられる劉徳有先生である。劉先生は毛沢東・周恩来の通訳をつとめたことでもよく知られている。はじめて劉先生にお目に掛かったのは今から12年も前のことである。とても流暢な日本語でお話しをされ、初対面の時からしばらくの間は、劉先生を日本人であると思い込んでいた。

筆者が広島大学で初めて中国語を教わった時、中国語の先生から次のような話しを聞いたことがある。日本語ができる中国人は、中国語ができる日本人と話しをする場合、相手の日本人の中国語が自分の日本語よりも上手だと感じた時には中国語で話しを続ける。反対の場合には日本語で話しを続けようとする。おそらく先生ご自身もみずからの体験に基づいてのお話しであったと思うが、たしかにこれまでの自分自身の体験を思い起こしてみても、その通りであったように思う。筆者が中国語で話しかけて、そのまま中国語で会話を続けた例はごく少なかった。もとより劉徳有先生とは、初対面の時から今日までとても親しくお付き合いをしているが、ずっと日本語で会話をしている。

さて、劉先生には「中日民間交流」という題目でご講演をいただいたのであるが、それをまとめた原稿が送られてきた。今から50数年前の1955年、郭沫若氏のひきいる中国科学代表団の通訳として随行し、日本を訪問された時のエピソードが次のように書かれていた。

季節はすでに冬に入っていました。箱根はそれほど寒くはなく、まだ晩秋といった気配でした。山々は紅葉で赤く染まり、とても美しかったのを覚えています。箱根は富士屋ホテルでした。朝、目が覚めると、快晴の朝日が窓から差し込み、窓の外は林で、なかから鳥のさえずる声が聞こえてきます。気持ちのいい朝でした。郭先生が夕べよく休まれたかどうかと思って、先生の部屋に行くと、もう起きておられ、新聞を読んでいた。わたしの姿を見て、楽しそうに一枚の紙片を見せてくれましたが、それには書いたばかりの詩がありました。

紅葉経霜久 紅葉 霜を経ること久しく  
依然恋故枝 依然として故の枝を恋う

昨日、箱根に来る途中の景色を描いたものだとすぐに分かりました。寒くなくても、紅葉がなお枝についているさまを短い十字で表現したものです。

「どうかね、ちょっと日本の俳句に似ているではないか」と、郭先生は感慨深げに言われましたが、この一言がとても印象的でした。

さすが、留学に亡命と前後20年間も日本で生活し、日本の風土と文学を知り尽くした郭沫若先生だと感心いたしました。

ここで劉先生は郭沫若氏の五言詩を引用され、それを訓読によって紹介されています。さすがに劉先生だと思った。劉先生は長い間、通訳者としての仕事をされてこられたが、最も心かげたことは、日本のことをよく知ること、それは言葉だけではなく言葉の背後にある日本の歴史や文化など、すべてのことに興味を持ち理解することであったと言われた。これは、われわれ日本人が中国語を学ぶ時にも同じことであると言えよう。

先に紹介した日本語作文スピーチコンテストは、今年も予定通り開催された。開会式で挨拶をされた日本学術振興会北京連絡事務所の和田修所長が興味あるお話しをされた。和田先生は電子工学がご専門であるが、英語で論文を書かれる時に、どうもうまく書けないことがある。そういう場合は間違いなく元の日本語がいい加減に表現されている場合であるということをおっしゃった。日本語で正確に表現されていない文章は、英語でうまく表現（翻訳）できないということである。これは中国語の場合も同じであって、われわれ日本語を母語とする者は、日本語で正しく表現する力を持たなければならないということを改めて考えさせられる良い機会となった。

本協会の理事長である上野恵司先生は、ご講演の中でよく次のようなことを強調されておられる。すなわち中国語学習において大切なことは、ただ単に中国語を学ぶのではなく、その言葉の背景にある中国の歴史や地理、文化や社会などを理解しなくてはならない。さまざまな事に興味を持ち、それを知識として食欲に吸収することである、と。

これからは日本語を学ぶ中国人と日本語ではなく中国語で話しが続けられるように、もっともっと中国語の背景にあることを知りたいと思っている。

## 動詞は目的語と一緒に

『中国語の環』編集室

準4級筆記問題の第4問中の何題かは、必ず「電車に乗る」、「雑誌を読む」、「音楽を聴く」、「パンを食べる」のように動詞とその目的語の組み合わせを問う問題である。

答えは“坐电车”、“看杂志”、“听音乐”、“吃面包”のうちの下線部に相当する“电车”、“杂志”、“听”、“吃”だけを書けばよいのであるが、効果的な学習法としては、求められていなくても、動詞と目的語をきちんと組み合わせさせて答えられるように心がけたい。併せて常用される目的語を整理しておくとなお効果的である。

いくつ答えられますか？ \*印は見出しとは異なる動詞を用いて答えることを示す。

以下はおよその目安です。

全部	40語以上	30語以上
3級以上	4級レベル	準4級レベル

- |   |                  |                                      |
|---|------------------|--------------------------------------|
| (1) 朝ごはんを食べる                            | 吃药               | chī yào                              |
| 吃早饭                                     | chī zǎofàn       | <input type="checkbox"/> 10. 乳を飲む    |
| <input type="checkbox"/> 1. パンを食べる      | 吃奶               | chī nǎi                              |
| 吃面包                                     | chī miànbāo      | (2) お茶を飲む                            |
| <input type="checkbox"/> 2. うどんを食べる     | 喝茶               | hē chá                               |
| 吃面条(儿)                                  | chī miàntiáo(r)  | <input type="checkbox"/> 11. コーヒーを飲む |
| <input type="checkbox"/> 3. ごはん(米飯)を食べる | 喝咖啡              | hē kāfēi                             |
| 吃米饭                                     | chī mǐfàn        | <input type="checkbox"/> 12. 紅茶を飲む   |
| <input type="checkbox"/> 4. チャーハンを食べる   | 喝紅茶              | hē hóngchá                           |
| 吃炒饭                                     | chī chǎofàn      | <input type="checkbox"/> 13. ミルクを飲む  |
| <input type="checkbox"/> 5. 軽食を食べる      | 喝奶               | hē nǎi                               |
| 吃点心                                     | chī diǎnxīn      | <input type="checkbox"/> 14. お酒を飲む   |
| <input type="checkbox"/> 6. 中華料理を食べる    | 喝酒               | hē jiǔ                               |
| 吃中餐                                     | chī zhōngcān     | <input type="checkbox"/> 15. ビールを飲む  |
| <input type="checkbox"/> 7. 西洋料理を食べる    | 喝啤酒              | hē pījiǔ                             |
| 吃西餐                                     | chī xīcān        | <input type="checkbox"/> 16. *タバコを吸う |
| <input type="checkbox"/> 8. 日本料理を食べる    | 抽烟               | chōu yān                             |
| 吃日本料理                                   | chī Riběn liàolǐ | (3) テレビを見る                           |
| <input type="checkbox"/> 9. 薬を飲む        | 看电视              | kàn diànshì                          |

- |                      |                  |                      |                    |
|----------------------|------------------|----------------------|--------------------|
| □17. 映画を見る<br>看电影    | kàn diànyǐng     | □34. 英語を話す<br>说英语    | shuō Yīngyǔ        |
| □18. 芝居を見る<br>看戏     | kàn xì           | □35. ドイツ語を話す<br>说德语  | shuō Déyǔ          |
| □19. 本を読む<br>看书      | kàn shū          | □36. フランス語を話す<br>说法语 | shuō Fǎyǔ          |
| □20. 雑誌を読む<br>看杂志    | kàn zázhì        | □37. ロシア語を話す<br>说俄语  | shuō Éyǔ           |
| □21. 小説を読む<br>看小说    | kàn xiǎoshuō     | □38. 日本語を話す<br>说日语   | shuō Rìyǔ          |
| □22. 漫画を読む<br>看漫画    | kàn mànhuà       | □39. 外国語を話す<br>说外语   | shuō wàiyǔ         |
| □23. 新聞を読む<br>看报(报纸) | kàn bào (bàozhǐ) | (6) 音楽を聞く<br>听音乐     | tīng yīnyuè        |
| □24. 展覧会を見る<br>看展览   | kàn zhǎnlǎn      | □40. ラジオを聞く<br>听收音机  | tīng shōuyīnjī     |
| □25. 友人に会う<br>看朋友    | kàn péngyou      | □41. 放送を聞く<br>听广播    | tīng guǎngbō       |
| □26. 病人を見舞う<br>看病人   | kàn bìngrén      | □42. お話を聞く<br>听故事    | tīng gùshi         |
| (4) 服を着る<br>穿衣服      | chuān yīfu       | □43. 漫才を聞く<br>听相声    | tīng xiàngsheng    |
| □27. コートを着る<br>穿大衣   | chuān dàyī       | □44. 講演を聞く<br>听演讲    | tīng yǎnjiǎng      |
| □28. セーターを着る<br>穿毛衣  | chuān máoyī      | (7) 飛行機に乗る<br>坐飞机    | zuò fēijī          |
| □29. ズボンをはく<br>穿裤子   | chuān kùzi       | □45. 船に乗る<br>坐船      | zuò chuán          |
| □30. スカートををはく<br>穿裙子 | chuān qúnzi      | □46. 電車に乗る<br>坐电车    | zuò diànchē        |
| □31. 靴をはく<br>穿鞋      | chuān xié        | □47. バスに乗る<br>坐公共汽车  | zuò gōnggòng qìchē |
| □32. *手袋をはめる<br>戴手套  | dài shǒutào      | □48. 汽車に乗る<br>坐火车    | zuò huǒchē         |
| □33. *帽子をかぶる<br>戴帽子  | dài màozi        | □49. 地下鉄に乗る<br>坐地铁   | zuò dìtiě          |
| (5) 中国語を話す<br>说汉语    | shuō Hànyǔ       | □50. 新幹線に乗る<br>坐新干线  | zuò xīngànxiàn     |

## 食べ物と飲み物

『中国語の環』編集室(U)

分類語彙表の2回目である。今回は前回の「身体部位の名称」に続いて「食べ物と飲み物」を取り上げる。

下の表のほかに、食事の種類としては“中餐”(zhōngcān)と“西餐”(xīcān)、食事をする場所としては“食堂”(shítáng)、“饭馆”(fànguǎn)、“餐厅”(cāntīng)、“餐馆”(cānguǎn)などがよく使われる。

いくつかわかりますか？

以下はおよその目安です。

全部	40語以上	30語以上	20語以上
2級以上	3級レベル	4級レベル	準4級レベル

<input type="checkbox"/> 1. 主食	zhǔshí	主食。
<input type="checkbox"/> 2. 副食	fùshí	副食。
<input type="checkbox"/> 3. 飲料	yǐnliào	飲み物。
<input type="checkbox"/> 4. 汤	tāng	スープ。
<input type="checkbox"/> 5. 早饭	zǎofàn	朝食。北方では“早点”(zǎodiǎn)とも。
<input type="checkbox"/> 6. 午饭	wǔfàn	昼食。
<input type="checkbox"/> 7. 晚饭	wǎnfàn	夕食。
<input type="checkbox"/> 8. 米	mǐ	米・あわなど。(粒 lì)(颗 kē)
<input type="checkbox"/> 9. 面	miàn	1. 粉；特に小麦粉。2. うどん
<input type="checkbox"/> 10. 面粉	miànfěn	小麦粉。
<input type="checkbox"/> 11. 大米	dànmǐ	米。(粒 lì)(颗 kē)
<input type="checkbox"/> 12. 小米	xiǎomǐ	あわ。(粒 lì)(颗 kē)
<input type="checkbox"/> 13. 饭	fàn	ごはん，食事。(顿 dùn)
<input type="checkbox"/> 14. 菜	cài	料理，おかず。
<input type="checkbox"/> 15. 米饭	mǐfàn	米饭，ライス。
<input type="checkbox"/> 16. 粥	zhōu	かゆ。“稀饭”(xīfàn)とも。
<input type="checkbox"/> 17. 馒头	mántou	マントウ；あんが入っていない。
<input type="checkbox"/> 18. 包子	bāozi	中華まんじゅう。
<input type="checkbox"/> 19. 烧饼	shāobǐng	小麦粉をねって薄くのして焼いた食品。
<input type="checkbox"/> 20. 油条	yóutiáo	小麦粉をねって長くのして揚げた食品。
<input type="checkbox"/> 21. 窝头	wōtóu	雑穀類の粉をねって蒸した食品；円錐形、
<input type="checkbox"/> 22. 饺子	jiǎozi	ギョーザ。 [中空。]

<input type="checkbox"/> 23. 烧卖	shāomai	シューマイ。
<input type="checkbox"/> 24. 馄饨	húntun	ワンタン。
<input type="checkbox"/> 25. 面包	miànbāo	パン。
<input type="checkbox"/> 26. 面条(儿)	miàntiáo(r)	うどん。
<input type="checkbox"/> 27. 炒面	chǎomiàn	焼きそば。
<input type="checkbox"/> 28. 点心	diǎnxin	軽食, お菓子。
<input type="checkbox"/> 29. 鱼	yú	魚。
<input type="checkbox"/> 30. 肉	ròu	肉。
<input type="checkbox"/> 31. 猪肉	zhūròu	ぶた肉。
<input type="checkbox"/> 32. 牛肉	niúròu	牛肉。
<input type="checkbox"/> 33. 鸡蛋	jīdàn	鶏卵, にわたりのたまご。
<input type="checkbox"/> 34. 蔬菜	shūcài	野菜。
<input type="checkbox"/> 35. 咸菜	xiáncài	漬け物。
<input type="checkbox"/> 36. 豆腐	dòufu	豆腐。
<input type="checkbox"/> 37. 水果	shuǐguǒ	くだもの, フルーツ。
<input type="checkbox"/> 38. 糖	táng	1. 砂糖。2. あめ。
<input type="checkbox"/> 39. 醋	cù	酢。
<input type="checkbox"/> 40. 盐	yán	塩。
<input type="checkbox"/> 41. 酱	jiàng	みそ。
<input type="checkbox"/> 42. 酱油	jiàngyóu	しょう油。
<input type="checkbox"/> 43. 作料	zuòliào	調味料。発音はzuóliàoとも。
<input type="checkbox"/> 44. 味精	wèijīng	化学調味料。
<input type="checkbox"/> 45. 黄油	huángyóu	バター。
<input type="checkbox"/> 46. 奶油	nǎiyóu	クリーム。
<input type="checkbox"/> 47. 干酪	gānlào	チーズ。
<input type="checkbox"/> 48. 牛奶	niúniǎi	牛乳, ミルク。
<input type="checkbox"/> 49. 豆浆	dòujiāng	豆乳。
<input type="checkbox"/> 50. 果酱	guǒjiàng	ジャム。“果子酱”(guǒzǐjiàng)とも。
<input type="checkbox"/> 51. 茶	chá	お茶。
<input type="checkbox"/> 52. 白酒	báijiǔ	白酒; 蒸留酒の一種。
<input type="checkbox"/> 53. 老酒	lǎojiǔ	老酒; 釀造酒の一種。
<input type="checkbox"/> 54. 啤酒	píjiǔ	ビール。
<input type="checkbox"/> 55. 咖啡	kāfēi	コーヒー。
<input type="checkbox"/> 56. 红茶	hóngchá	紅茶。
<input type="checkbox"/> 57. 果汁儿	guǒzhīr	ジュース。
<input type="checkbox"/> 58. 冰激凌	bīngjīlíng	アイスクリーム。
<input type="checkbox"/> 59. 开水	kāishuǐ	お湯; 一度沸騰したもの。
<input type="checkbox"/> 60. 凉开水	liángkāishuǐ	湯ざまし。

## 絵で見る成语 (15)

絵・張恢

文・『中国語の環』編集室



**賊喊捉賊** zéi hǎn zhuō zéi  
泥棒が「泥棒をつかまえろ」と叫ぶ；  
泥棒が他人を泥棒呼ばわりする。悪人  
が他人を悪人呼ばわりする。盗人（ぬ  
すつと）猛々しい。



**掌上明珠** zhǎng shàng míng zhū  
掌中の珠（たま）；非常に大切なもの。  
特に，最愛の女兒。“掌珠”（zhǎng-  
zhū），“掌上珠”（zhǎngshàngzhū），“掌  
中珠”（zhǎngzhōngzhū）とも。



**朝三暮四** zhāo sān mù sì  
朝三暮四；ことば巧みに人を欺くこと。  
転じて，ことばや態度がころころとよ  
く変わること。『莊子・斉物論』に見  
える猿まわしと猿の寓話から。



**争先恐后** zhēng xiān kǒng hòu  
先を争い，落后するのを恐れる；他人  
に負けまいと先を争う。われ先に。わ  
れ勝ちに。



**纸上谈兵** zhǐ shàng tán bīng  
紙上に兵を談ず；理論をかざすだけで  
実際に問題を解決することができない  
たとえ。机上の空論をもてあそぶ。畳  
の上の水練。



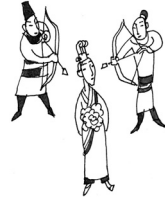
**指鹿为马** zhǐ lù wéi mǎ  
鹿を指して馬となす；是非・黒白を転倒  
することのたとえ。矛盾したことを押  
し通す。鹿を馬。驚（さぎ）を鳥。『史記』  
に見える秦の丞相・趙高の故事から。





众目睽睽 zhòng mù kuī kuī

衆人の目が光っている；(多くの人が目をみはっているので) 悪事の包み隠しようがない。“睽睽”は目を見開いて注視するさま。



众矢之的 zhòng shǐ zhī dì

衆矢的的(まと)；たくさんの矢が当てられる的。多くの人々の非難・攻撃の対象。



煮豆燃萁 zhǔ dòu rán qí

豆を煮るに萁(まめがら)をたく；兄弟が互いに害し合うことのたとえ。曹植「七歩詩」中の詩句から。



自吹自擂 zì chuī zì léi

自らラッパを吹き太鼓をたたく；自分のことを吹聴する。自己宣伝する。手前味噌(みそ)を並べる。



坐井观天 zuò jǐng guān tiān

井に座して天を見る；見識の狭いことのたとえ。井の中の蛙(かわず)。井蛙(せいあ)。葦(よし)の髄から天井のぞく。



做贼心虚 zuò zéi xīn xū

悪事をはたらけばうしろめたい気持ちになる；心にやましいところのある者はいつもびくびくしている。

## “很好”、“真好”、“挺好”

日本中国語検定協会評議員・文京学院大学 魯 晁珉

前回は情報の所在という視点から“很”と“真”の使い分けを分析し、話し手が自分の経験したことがないことについて評価する場合、“很”は使えるが、“真”は使えないということを明らかにしました。

一方、話し手が自分で経験したことについて評価している場合でも、下の(1)のケースにおいては、“很”は使えるが、“真”は使えません。

(1)\*我打网球打得真好。

例(1)で“真”が使えない理由を考察するため、話す場面と人物の関係に注目し、(2)(3)を見てみましょう。

(田中さんの個展を鑑賞しに来た先生と友達が田中さんを褒めている発話文)

(2)先生：田中，你画得很好。

(3)友達：田中，你画得真好。

もし、(2)の“很”と(3)の“真”をチェンジすると、両方とも不自然になります。それはなぜでしょうか。

“很”は話し手の自身の観点を排除した、普遍的な社会一般もしくは周囲の見方を取り入れた客観的な観点を表す評価に用いられます。

一方、“真”は“很”と異なり、普遍的な社会一般もしくは周囲の見方を排除した、話し手の立場からの主観的な観点を表す評価に用いられます。

(2)のケースにおいては、話し手が教師という特殊な立場にいるため、できるだけ公平で客観的な観点から評価しなければなりません。それに対して(3)のケースにおいては、友達は個人としての感想を伝えているだけで、話し手自身の主観的な観点から評価するわけです。そのため、(2)では“很”、(3)では“真”を用います。

それでは、(1)のケースにおいては、なぜ“真”が使えないのでしょうか。(1)では主語が第一人称なので、話し手が自分自身を評価している場合なので、その評価は公平で、しかも客観性を有しているものであるべきだと考えられます。そのため、“很”は使え、“真”は使えません。

“很”と“真”のこのような客観性と主観性の違いは構造上にも現れています。

(4)她住在香山一个很 (\*真) 漂亮的别墅里。

例(4)で示したような“真漂亮”という主観性の高いフレーズは連体修飾語となり得ません。

話し手の主観的な態度を表す副詞としては、“挺”もその一つに数えられます。ここからは“挺”を使う条件を明らかにして、“很”“真”との区別も理解しましょう。

例(5)を見てみましょう。

(友達の結婚式で新婦を目の前にして)

(5) a 新娘子真漂亮！

b \* 新娘子挺漂亮（的）！

例(5)では“真”は使えるが、“挺”は使えません。“挺”は(6)~(8)の場面で使われます。

(6) 甲：这件衣服我买后悔了。

（この服を買ったことを後悔しています。）

乙：我看你穿这件衣服挺好看的。

（この服はあなたにお似合いですよ。）

(7) 最近我发现我挺适合当护士的。

（最近私が看護婦という職業に向いていることに気付いたのです。）

(8) 这个菜挺好吃的，你尝尝。

（この料理は美味しいよ，食べてみて。）

例(6)では，乙は甲の認識に反した自分の認識を述べています。(7)では，話し手は過去の自分の認識に反した現在の認識を述べています。(8)では，話し手が相手に勧める際，相手が自分とは異なる認識を持っている可能性に配慮した上で，自分の認識を述べています。

例(6)~(8)をまとめると，“挺”を用いるのは，話し手の発話時の認識と異なる認識が存在したか，存在しているか，または，存在する可能性があることを前提として，その異なる認識を許容したうえで，自分の認識を述べる場合です。

そのため，(5)では“挺”を用いると，「以前新婦のことを綺麗だと思わなかった」か，「新婦のことを綺麗だと思わない認識が他にある」などが考えられます。このような前提は(5)の発話場面にそぐわないので，“挺”は使えません。

また，一般常識で異なる認識が存在する可能性がない場合は“挺”を用いることができません。たとえば，

(9) \* 宇宙挺大的。

(10) \* 吸毒对身体挺不好的。

逆に一般常識で異なる認識が存在するはずである場合は普通“挺”を用います。次の電話での会話を考えてみましょう。

(11) 妈妈：你最近怎么样？

女儿：我挺好的，你放心吧。

例(11)では“很”を使えないわけではないが，“挺”を用いると，娘はお母さんが自分のことを心配していることを意識した上で，お母さんの心配を払拭するというニュアンスを含むということになります。

ここで覚えた“很”“真”“挺”の区別を応用し，コミュニケーション効果を高めましょう。

参考文献

楊達1994「“很”“真”についての構造研究—そのモダリティを通して—」『成城文藝』第148号

森中野枝1999「中国語の程度副詞“挺”」『中国語学』第246号

## どこがおかしい？なぜおかしい？

——「日文中訳添削講座」から (21)

(86) 午後、私は銀行に行ってお金を引き出すつもりです。

訳文としては、皆さんよくできていましたが、理解を深める為に解説します。

「私」を主語として、①「銀行に行く」②「お金を引き出す」と二つの行為に分けられます。このように一つの主語に対して述語部分が二つの動詞または動詞フレーズからなっている文を連動文と言います。この時注意しなければならないのは、①、②は必ず時間の流れに沿って並べなければならない点で、“取钱去银行”という順序にはなりません。また時間を表すことばは、原則として文頭に置きます。

「お金を引き出す」は“取钱”。“取”自体に「お金を引き出す」という意味があります。「…するつもりである」という予定の行動を表す時には、“打算”“准备”を用います。“要”は主に必要性，“想”は願望を表しますので、この場合は適当ではありません。

《参考訳文》 下午，我打算（准备）去银行取钱。

(87) ここ数日、忙しくて新聞も読んでいないし、テレビも見していない。

「新聞も読んでいない」と「テレビも見っていない」は並列関係にありますので、接続詞を使った複文を使って表現します。つまり“既……，又……”をそれぞれの文の動詞の前に置きます。同様の意味を持つ接続詞としては他に“又……，又……”“既……，也……”“也……，也……”の型もあり、これらを使った回答もありました。但しここでは「忙しくて新聞も読めなかった，テレビも見ることができなかった」と過去の出来事の否定ですから、動詞の前に否定詞“没”を置き、接続詞はそれらの更に前に置きます。

全体としては“忙”に対しての様態補語を使った形である“忙得……”で訳していきます。今回、多くの方が“这几天很忙”とまず言ってから、“既没看报纸，也没看电视”と続けていました。もちろん、これも正解です。時間を表す“这几天”は文頭に置きます。以上をまとめると下の文になります。

《参考訳文》 这几天忙得我既（又／也）没看报纸，也（又）没看电视。

(88) うちの亭主は競馬でなければゴルフで、休日は家にいたためしがない。

“不是……，就是……”（…でなければ…である／…か…かのどちらかである）を用いて選択関係を表す複文を作ります。

「うちの亭主」は“我老公”“我丈夫”“我先生”です。「競馬」は中国語に訳すと“赛马”，「ゴルフ」は“高尔夫球”或いは“高尔夫”になります。中国語の“赛马”は動詞としても名詞としても使えますので、「競馬」は“赛马”“看赛马”“去赛马”

“买马票”（馬券を買う）などと訳しても構いません。しかし、“高尔夫球”と“高尔夫”は名詞ですので、“去高尔夫”と訳したら間違いです。「家にいたためしがない」の「ためし」は“先例”“经验”などの意味ですので、「…したためしがない」は“从来没有……的经验”としたり、“从来没有……过”としても結構です。“没一天不在家”“未曾没在家”などと訳された答案がありました。間違いです。二重否定は肯定になり、逆の意味になってしまいます。“未曾”の“未”は否定の意味です。従って、“未曾”を使いたい場合は“休息天未曾在家过”と訳すべきです。“赛马”の“赛”の書き方は日本語の「賽」と微妙に違いますので注意していただきたいです。

《参考訳文》 我丈夫不是赛马就是高尔夫球的，休息天从来不在家。\* 1

我丈夫不是看赛马就是打高尔夫球，没有一个休息天在家。

我老公不是去赛马，就是打高尔夫球，假日没有在家过过。\* 2

\* 1文の前半の“是……的”は強調の働きがあって、「…というような状態で」という語気を与えています。

\* 2文末の二つの“过”は、前の“过”が「家で過ごす」の「過ごす」（動詞）に当たり、後の“过”は「一度も…したことがない」という意味を表す“从来没有……过”の“过”（助詞）です。

(89) ラムは子羊の毛で、毛が細くて暖かいので、冬の薄手ウールのベースになる。色も染めやすく取り扱いも簡単なため、冬の衣料の基本素材として人気がある。

「ラム」も「子羊」も「羊羔」「羔羊」「小羊」「羊崽」などの訳語のいずれかで表現することができますが、本題の場合は「ラム」と「子羊」を同一訳語で用いると理解しづらくなりますので、ちょっと工夫する必要があります。

「ウール」は「羊毛」と言いますが、「ウールのベースになる」は“成为羊毛品（制品）的基本材料”のように“……品”“……制品”のような要素を加えておくとういでしょう。ちなみに、中国で衣料品を購入する場合、“羊绒”という語もよく見かけますが、これは「カシミヤ」という意味になります。

「冬の衣料の基本素材として」については“作为冬天的衣料的基本素材”とした直訳を“作为冬季服装衣料（面料）的原材料”のように添削しました。“素材”は文章や芸術の材料としては使いますが、日本語の「素材」のように幅広く用いることができません。ちなみに“面料”は“衣料”の類義語ですが、「表地」という意味になります。

《参考訳文》 ①羊羔身上都是羊崽毛，又细又暖和，所以往往用于冬季较薄的毛制品的料子。由于易于上色，且好加工，作为冬装的衣料得到好评。

②羔羊的毛既柔软又保暖，可用作冬季轻便毛纺织品的基本原料。它容易染色，也好保管，作为抗寒服装的面料很受欢迎。

（文責：高部千春）

## 草の根文化を代表する新語“山寨”

日本中国語検定協会評議員・共立女子大学 李錚強

“山寨shānzài”はもともと山中に築いたとりでの意味だった。その後、とりのある山村も指すようになった。しかし、近年、この名詞として使われていた“山寨”は「模倣した」「非正規の」または「民間の」「非主流の」という事物の属性を示す形容詞として広く使われるようになった。2012年に改訂された《現代汉语词典第6版》(商務印書館)にはこの“山寨”の新しい語義が追加されている。

この流行語“山寨”について語義変化の由来を探ると、まず広東方言の“山寨厂”(山の斜面にある個人経営の小さな工場)と関連があることが推測される。“普通话”として使われ始めたきっかけは、携帯電話が急速に普及し始めた2008年に遡ることができる。多機能を備えた外国産の“手机”(携帯電話機)のブランドが若者を中心に愛用され始めたが、高価でなかなか手に入らない状況下で、いわゆる“山寨厂”で造られたコピー版の“手机”が出回り、廉価ということで低レベルの消費者市場を独占した。このような模倣品の“手机”はウェブ上で“山寨手机”または“山寨机”と名付けられた。

模倣品の品種や規模が産業界で急速に拡大していくに伴い、“山寨笔记本电脑”(コピー版ノートパソコン)、“山寨照相机”(コピー版カメラ)、“山寨软件”(コピー版ソフトウェア)、“山寨汽车”(コピー版自動車)のようにエレクトロニクス製品全般に使用拡大されることによって、“山寨”という新語は一般のマスコミでも使用されるようになった。

さらに、この“山寨”を用いて合成された語はブランドのコピー商品(“山寨货”)に止まることなく、若者を中心にインターネットを通じて“山寨明星”(パクリスター)、“中国山寨电视台春节联欢晚会”(旧正月に放送されるCCTVバラエティショーのパクリ番組)のように文化分野にまで浸透した。このように新語“山寨”が“定语”として様々な名詞と組み合わせられて新しい派生語が続々と登場した。

“山寨机”のような“山寨X”式の合成語は、日本語に訳すといずれも「ニセモノ」や「パクリ」というマイナスのニュアンスを帯びやすいが、実は現在の中国では模倣品に新しい意味を持たせた中性の語として使われているようだ。例えば、“山寨手机”は決して“冒牌手机”または“仿冒手机”という海賊版の意味で捉えられているわけではない。高度成長期にある中国産業界においては、“山寨货”の生産販売で多くの貧しかった草の根の人々が富裕層に変身したことが注目される。

“山寨”を追い求めていくことは現代中国社会の流行となっているが、偏った発展をもたらした歪んだ現象であり、価値観の錯乱現象とも言えよう。一方、“山寨明星”や“山寨春晚”のように文化面における使用の拡大傾向は、「草の根文化のエリート文化への挑戦」という積極的な意義もあるように思う。

## 書き取り練習“听写”の勧め

赤坂 綾

わたくしは5年程前から協会が行っている通信添削講座上級リスニング書き取り問題“听写tīngxiě”の添削を担当しております。リスニング書き取り問題では、通信添削講座の問題に附属しているCDを聞いて出題された箇所を簡体字で書き取ってもらいます。書き取り問題の添削を行うなかで感じていることをいくつか述べたいと思います。

## ①簡体字は正確に

簡体字を正しく書いていない方が意外と多くいらっしゃいます。例えば、「差”(9画)と「差”(10画),「着”(11画)と「着”(12画),「帯”(9画)と「帯”(10画),「对”(5画)と「对”(7画),「收”(6画)と「収”(4画),「突”(9画)と「突”(8画),「效”(10画)と「効”(8画),「牙”(4画)と「牙”(5画)などのように、中国語と日本語で字形が微妙に異なる漢字は特に注意しなければなりません。

## ②単音節の単語に注意

2音節以上の単語とは異なり、前後の音節のない単音節の単語は聞き取りにくいようです。とりわけ接続詞、副詞、前置詞を聞き取るのが難しいようです。例えば、接続詞“但是”“可是”“虽然”や副詞“曾经”“从来”“已经”を聞き取ることができても、“但”“可”“虽”“曾”“从”“已”となると途端に聞き取れなくなってしまう方が多くいらっしゃいます。また、“把”“从”“跟”“在”は分かっても、その書面語である“将”“自”“与”“于”となると難しく感じるようです。

## ③似ている発音に注意

声調(例：“毛衣máoyī”“贸易màoyì”),前鼻音と奥鼻音(例：“不关bùguān”“不光bùguāng”),無気音と有気音(例：“肚子dùzi”“兔子tùzi”),そり舌とそり舌でない音(例：“吃chī”“七qī”),同音異義語(例：“绘画huìhuà”“会话huìhuà”)などによる誤りが挙げられます。また、三人称の“tā”は、“他”“她”“它”のいずれかを正確に書き分ける必要があります。以上のことから、リスニング問題では出題された部分だけを聞き取るのではなく、文章全体の意味をしっかりと把握したうえで書き取らなければならないことが分かります。

## ④“的”“得”“地”の書き分け

連体修飾語を作る“的”,結果や程度を表す補語を導く“得”,連用修飾語を作る“地”の書き分けができていない方がいらっしゃいます。“的”“得”“地”の使い分けに自信のない方はそれぞれの用法を一度確認しておきましょう。

## ⑤“标点符号”(句読点)の使い分け

文中の区切りに用いる“逗号[,]”と、文中の単語や連語の並列に用いる“顿号[,]”を正しく使い分けされていない方が非常に多くいらっしゃいます。

通信添削講座全コース12回の中で書き取り問題は6回出題されますが、初めのうちは簡体字の書き誤りが多かった受講生の方も、回数を追うごとに簡体字の書き誤りによる間違いは見られなくなり、添削を行ってとても嬉しく思います。

“听写”はリスニング力を鍛える為だけでなく、文法力や読解力等を含めた総合的な力を養ううえでも大変有益です。中国語の学習方法の一つとして“听写”を取り入れることを皆さんにも是非お勧めします。 (共立女子大学非常勤講師)

### 中国語学習は楽しい

安河内 清徳

私が中国語の勉強を始めてから半年になる。週に1回、近くの中国語教室に通っている。初級レベルで、少数であるのが気に入って受講を決めた。当初、漢字が日本語と似ているので、覚えやすいだろうと思っていたのだが、実際は発音が全然違うし、特に四声の難しさは想像を超えた。私のクラスは、すでに2年以上の学習者ばかりなので、全くの初心者がついていくには難しく、特に発音には苦勞した。

少しでも早く追いつくために、家ではCDを聞いたり、辞書で発音を確かめたりして頑張った結果、今では何とか音の区別ができるようになり、教室で一斉に読む時に他の受講者に引けを取らずに読めるようになったのは嬉しい限りである。

そもそも、中国語に興味を持ったのは、去年のことである。

5年前の英国留学時代に親しくなった中国人が数人おり、去年北京に行った時、そのうちの一人の家庭にホームステイした。元級友とは英語で話せるので問題ないが、家族は英語が全く話せないために私達の会話に入れなくて、食事をしたらすぐに席を立ち、テレビを見始めるのである。この時、私が少しでも中国語を話せたら会話がもっと弾んだのに、と思ったのが、中国語を学ぼうと決意した理由である。

現在、65歳という年齢で暗記力が相当落ちているが、時間をかければ可能であるという信念のもとに学び続けている。次回、中国人の級友に会ったら中国語で話すのを楽しみにしている。一方、中国語検定試験の4級を目指して、目下単語の暗記に取り組んでいるところである。

『読者の広場』への投稿を募集しています。中国語に関する事、検定試験に関する事等、400字～1,000字程度でお寄せください（Eメール、郵便ともに可）。採用された方には、記念品を進呈します。

なお、ご投稿いただいた原稿を掲載するにあたり、編集室側で若干の加筆・修正をさせていただきます場合がございます。予めご了承ください。